

第2回 美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議

開催日時	令和2年3月26日(木) 13:00~15:00
開催場所	美祢市美東保健福祉センター 大ホール
出席者	<p>山口大学大学院創成科学研究科 教授 岡松道雄</p> <p>山口県立大学 社会福祉学部 教授 前田哲男</p> <p>山口大学大学院創成科学研究科 教授 鈴木素之</p> <p>徳山工業高等専門学校 土木建築工学科 准教授 目山直樹</p> <p>株式会社YMF G ZONEプランニング 藏重嘉伸</p> <p>総務省地域情報化アドバイザー 遠藤勇一</p>
欠席者	山口県建築士会 理事 加藤久雄
事務局	<p>秋芳総合支所：鮎川支所長 五嶋課長補佐</p> <p>美東総合支所：東城支所長 上田課長補佐 重枝係長</p> <p>教育委員会：金子事務局長 斉藤生涯学習スポーツ推進課長</p> <p>基本計画策定支援・基本設計業務委託業者：(株) 龍環境計画</p>
次第	<p>1 会長あいさつ</p> <p>2 前回(第1回)における質問の回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害ハザードマップ</li> <li>・周辺施設等のプロット図</li> <li>・避難所について</li> <li>・本庁と総合支所の役割分担について</li> </ul> <p>3 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本計画検討資料について</li> <li>(2) 建設候補地の比較検討について</li> <li>(3) スケジュールの変更について</li> </ul> <p>4 その他</p> <p style="padding-left: 2em;">次回(第3回)有識者会議</p> <p>5 閉会</p>

内 容	
	次第に基づき以下のとおり進められた。
岡松会長	<b>1 会長あいさつ</b> (省略)
事務局	<b>2 前回(第1回)における質問の回答</b> ＜ 説明 ＞
	質疑は以下のとおり
岡松会長	資料1-1の土砂災害のハザードマップに避難所のマークがありますが、新たな避難所を考えますと南側の方が良いのかなと思います。それは1例ですが、総合的にハザードマップと各種施設のプロット図を見て、まず安全対策ということで、災害に対する備えという意味では、この資料からどのようなことが考えられますか。
B委員	資料1-1に土砂災害ハザードマップを提出されていますが、大田川洪水ハザードマップと合わせて見るのが大事だと思います。両方を見て避難場所を検討するのが、第1歩だと思います。また、大事なことを申し上げますと、将来的には土砂災害、水害、地震等々のハザードマップの概略が、雨の量とか地震の大きさ等が変われば、当然ハザードマップも変わりますので、将来的に変わりうるということも見越しておくことが、大変重要な視点であります。そういう将来的に変わるものについては、ハードでそこまで想定すると、結局物理的に建設できないということになってしまいますので、ソフト的に対応していくというのも必要ではないかと思います。また、資料1-2の秋芳中学校のグラウンドは多分危ないと思います。避難場所に行くには、そこを通すか通さないか、近いから通る人がいると思います。住民の方、児童生徒さんたちに知っていただくということが、非常に大事で、ハザードマップ等は、作りっぱなしではなく、一般の方に知っていただくという努力は、この先ずっとやっていかないといけないと思います。
岡松会長	建設場所は、どこがいいのか慎重に決めていく必要があると思いますが、一方で全てを考えるとつくれない。あえてリスクを背負

	いながら、どう解消していくかを考える必要があります。
	<p><b>3 議事</b></p> <p><b>(1) 基本計画検討資料について</b></p> <p>支援業者 &lt; 説明 &gt;</p> <p>質疑は以下のとおり</p>
岡松会長	3回目の2月のワークショップは行われたのですね。
支援業者	はい。4回目も予定していましたが、延期です。若干取りまとめの時間を確保していただけそうなので、ワークショップは予定回数を実施しないと結論が出ないということです。
岡松会長	資料4のP.13を見ると、ワークショップは5回目まで実施される予定ですが、今は3回目と4回目の間ということですね。その下のところを見ますと、敷地の選定、敷地全体の空間構成の2つは決めなければいけないということですか。
支援業者	はい。決めなければいけません。
岡松会長	大雑把な捉え方をしますと、美東については、2番の敷地が候補から無くなりそうで、1番と3番かに今後絞られるということですね。秋芳に関しては、体育館の土地をとということですか。
支援業者	秋芳は、現状の総合支所が建っているところに建てようとする、解体をしなければいけないので、仮設庁舎を建てる等の経費的な無駄が多く、体育館を解体してそこに建てるのが、一番効率がいいということで、ワークショップで合意、あと市役所の方針ともすり合ってきてますので、問題は体育館をどうするのが残っています。
岡松会長	それは、P.49のABC案のところのC案に落ち着きそうということですか。
支援業者	そうですね。これは当初可能性としてお示したもので、この中でC案の体育館を解体して建てるという案は、合意できたというこ

	とです。
A委員	<p>この会議では基本計画、基本設計さらには事業手法を審議することになっていますが、策定された基本構想を前提にこの会議に臨んでおり、基本構想では総合支所が450㎡、公民館600㎡、図書館150㎡で合計1,200㎡という基本面積が提案されていますが、ここの面積を尊重しながら進めて行かれるのでしょうか。P.23、P.47に複合化の基本的な考え方の図が出てくるのですが、これは市民サイドからすると、とてもすばらしい図だと思うのですが、行政サイドの仕事の展開からすると、この総合支所の図の表現は、出張所レベルの表現になっていると思います。総合支所には、窓口業務しかないという図に見えてくるので、基本構想で想定されている総合支所450㎡というのは、これを尊重しながら進められるのですか。</p>
事務局	<p>基本面積については、基本構想を尊重しながら進めていきたと思っています。P.19にCASE1,2,3と掲載しておりますが、こちらについては、2回目のワークショップで空間関係図を作っていただけで、それを基に敷地に当てはめたもので、あくまでもイメージ図としてということで第3回のワークショップでも説明しているところです。</p>
支援業者	<p>P.23の図ですが、総合支所は分かりにくいのですが、市民サロン・談話コーナー・子育てサロン・地域情報コーナー・観光情報コーナー・総合窓口・相談コーナー・避難所というような要素が入っていると考えています。</p>
A委員	<p>市民が使う空間は、分かります。業務として仕事をする空間です。その空間も出張所的な単純な作業ではなくて、非常に大事な仕事を展開される可能性があるのですか。それが見えてこない。</p>
支援業者	<p>それは、ここでは、委員ご指摘のとおり手続き、相談窓口しかありませんが、第3章でそれぞれの細かい部分をどうしていくかということ議論していただきたいと思っています。業務の内容と基本的に何人の職員が配置されるのかという話等を分析して、必要な面積の考え方を作業中です。これは、次回の有識者会議で議論していただく予定で、今日は2章までということで、第3章で細かい内容に関してはまとめているとご理解いただければと思います。ただ、</p>

	書き方に関しては、これは少し乱暴かなと思いましたが、見直しをさせていただきます。
E委員	総合支所という名前は全国の自治体で同様に使われていますが、総合支所といっても自治体によってかなり機能差があり、確認の質問を前回しました。その質問に対して美祢市からは、総合支所と名前が付いているが、どちらかという出張所に近い機能で、コンパクトな機能で構成されている。効率性を重視して本庁集約型でされていると回答をいただいたので、私としてはそう理解していました。
A委員	基本構想の中には、職員の人数を入れて、その結果 450 m <sup>2</sup> という面積が算出されている。職員の構成を見ると、これは決して出張所レベルではないと思いますが、それなりの総合支所としての役割を持っていると思うのですが、地域の発展にとっても重要な役割を行政が握っているのではないかと思います。
事務局	基本的には、出張所に近い機能ということで、資料7の方にもありますけど、各総合支所が1課1分室という状況で、これから複合化を考えていきますと、人員が増えることは想定できないと事務局としては考えているところです。あとは、これから業務内容とか具体的に詰めていくという状況になると考えています。
岡松会長	今のお考えで、人員配置なり必要面積なりを算出されると捕らえてよろしいでしょうか。
事務局	はい。
岡松会長	市民サービスが弱体化しないように、この地域のサービスをしっかりと確保するために進められるということによろしいでしょうか。
C委員	敷地選定における条件の中で、コストと事業性の問題、事業期間スケジュールの問題は、評価軸に入れないといけない。
岡松会長	事業のコスト・スケジュールに関することですが、事務局どうですか。
支援業者	今日は事業コストの資料を提示していませんが、概算ですけど

	<p>個々に全部出しています。それと、合併推進債という起債の関係で、2023年の3月には完成しないといけない。ワークショップでも概算の話を出したりしています。あと、スケジュールの話ですが、市有地ではないところに計画する場合は、相手の方がいらっしゃるので、交渉に時間がかかります。</p>
C委員	<p>コストの概算が出ている状況であれば、最低の価格のものを、1.0として、1点何倍になるか比較資料出せばいいと思います。何億減るという話は、議論の話の対象は必要ない。それから、事業の実施については、2023年の3月までに完成することが必要と明記する必要があると思います。事業を見切り発車するのは、してはいけないと思います。</p>
支援業者	<p>それらは、資料6でご説明します。</p>
岡松会長	<p>基本構想のP.23のところ、全体的な事業費だけでなく、ライフサイクルを含めた比較をされていると思いますので、そのあたりを含めて説明願えたらと思います。</p>
E委員	<p>構成の問題ですが、美東と秋芳の資料のつくり方を見比べていくと、少し違いがあります。両総合支所の書きぶりを、どちらかに合わせていただいて、統一していただきたいと思うので見直しをいただけたらと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘どおり修正をしたいと思います。</p>
D委員	<p>基本構想の中で、今後事業手法を検討していくことを、明記されています。この有識者会議に関してはそういったこともコメントしていくと思っていますので、資料4-1で、今回の構成について今お示しいただいていますが、第4章の事業計画の中で、官民連携について、手法比較をしたものを、盛り込んでいただければと思います。</p>
支援業者	<p>事業手法を比較したものを、盛り込む予定しています。</p>
岡松会長	<p>他に追加の意見はありますか。</p>

B委員	資料で53ページの表の①から③の候補地に対して、洪水浸水区域、土砂災害警戒区域という項目が挙げられていますけど、その評価対象として、浸水するような場所のアクセス性を評価していただきたいと思います。窪地とか水はけが悪いところは、最初から避けるべきだと思います。0.5mあるいは1m嵩上げしても、それは柔軟に避難できるような気持ちがないといけない。ハードとソフトをうまく入れていくことが大事と思う。実際、コストの問題もあるが、総合設計者がよく理解して、フレキシブルに考えるというところを、どこかに追記した方が良く思う。
支援業者	<p><b>(2) 建設候補地の比較検討について</b></p> <p>＜ 説明 ＞</p> <p>質疑は以下のとおり</p>
岡松会長	基本計画策定が3カ月ぐらい遅れるのですね。
支援業者	基本計画の完成が本当は5月だったのが、3カ月延びます。全体のスケジュールとしては、追いつけると思います。
A委員	美東保健福祉センターの敷地は、洪水時は大丈夫ですか。
支援業者	保健福祉センターの敷地は、大丈夫です。
C委員	美東に関しては、2か所のみですか。
支援業者	敷地はそうです。
C委員	基本構想の基本理念を受け継いでいくと、3つの施設を複合化するのが、大前提ではないでしょうか。美東の分散化する案は、支持しにくいし、得策ではない。集約化して総合支所に来たついでに公民館に寄ってもらう、公民館活動に来たついでに、図書館を利用してもらう。周南市の駅前図書館みたいに、人が立ち寄って、時間を潰すようなところになってくれるといいのではないのでしょうか。
E委員	資料5-2ですが、比較表をつくるときに、全ての項目が同列で

	<p>列挙されている状態ですが、果たして同列で検討してよいものなのか、平準的に検討してよいものなのかと思います。レベル分けする必要があると思います。もう一つは、ワークショップの議論を見てみると、長期的な視点がインプットされているのかどうかというところがよく分からないところがありました。どちらかというところ、分散案が出てきたことを含めて、美東保健福祉センターがもったいないというところにごく引っ張られている。</p>
支援業者	<p>ご指摘のとおりだと思います。項目を同じように並べていますが、項目に重みづけをして、重み付けごとに評価して、その結果次のレベルの話に移っていく形にした方がいいと思います。</p>
岡松会長	<p>長期的な視点で考えるというところはどうでしょうか。</p>
支援業者	<p>P. 52の資料5-1の右側の図ですが、地域の将来構想を描くべきだと思うのですが、その中に新しい複合施設をつくるのは、重要な意味なので、行政判断としてここがよいというようなことを言わなければいけない段階であると思う。それと市民の意見とを議論していくということも重要だと思います。そのタイミングを計っているところです。</p>
岡松会長	<p>まちの計画とは、例えば都市計画マスタープラン等と整合性をとられているのですか。</p>
支援業者	<p>美祢市都市・地域拠点活性化計画（案）が策定されていて、それとのすり合わせはできていませんが、大田・秋吉の中心をどうつくっていくのかは、重要な意味を持つと思う。</p>
岡松会長	<p>市民の意見等とすり合わせていく作業が必要だということですね。それについては、長期的な視点を持ちながら検討していくということですね。</p>
支援業者	<p>ワークショップで、この図のような説明をして、その中でどれがいいのかという議論をできたらいいなと思います。</p>
岡松会長	<p>敷地の選定を急ぐべきだという話がありましたが、タイムリミットは、いつかということを含めて情報をいただければと思います。</p>

事務局	<p><b>(3) スケジュールの変更について</b></p> <p>＜ 説明 ＞</p> <p>質疑は以下のとおり</p>
岡松会長	<p>基本設計は令和2年4月から始まるということですか。</p>
事務局	<p>基本計画策定期間と基本設計の期間が重なるようになりますが、基本計画と基本設計を一体的に契約していますので、4月から少しずつですが進めていく予定です。</p>
B委員	<p>資料6-2のパターンの用地交渉ですが、5月くらいから9月くらいまでと長い期間ではないと思う。調整は、どこまで基本設計の期間で反映できるかということを考えていかなければいけない。用地交渉もですけど、基本設計の期間も非常にタイトな印象を受けます。</p>
A委員	<p>このスケジュールを見ると、通常の建物を設計し、建設するスケジュールだと思うのですが、この会議では事業手法を検討するということがありました。この日程からするとすでに事業手法を検討するのは難しいと思いますので、この段階で事業手法を検討するのは難しいという結論を出した方がいいのでは。</p>
岡松会長	<p>前田委員のご指摘は、第1回有識者会議での資料8「美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議設置条例」第2条(2)を外すというご指摘ですね。いずれにしろ時間が無いなかで、高度な判断をしなければいけない状況で、スケジュールについては、今日議論するのは難しいと思います。</p>
E委員	<p>スケジュールについては、合併推進債を利用して交付税措置を受けるとするのは重要だと思う。ご提案ですけど、新型コロナウイルスの流行を受け、国の方もいろいろ特例措置を講じているところです。合併推進債の期限が、本当にコンプライトなのか、今後動く可能性があるのではないかと個人的に思っています。</p>
岡松会長	<p>もう少し候補地の災害に関する評価のご意見をいただけたらと思</p>

	います。
B委員	<p>洪水と土砂災害は、ほぼ同時に起こっても不思議ではないものと理解しておくことが大事である。洪水リスクを抱えたところに建てるのか、建てないのかということになる。私の考え方としては、避けられるものなら避けた方がいい。ただ、災害が毎年起こるわけではないので、総合的に見て評価しなければならない。全て防災面で決めていたら、日本で建てる場所が無いし、建物でいうと、要塞みたいなものをつくらなければならない。どこかで、線を引いてつくるしかない。ソフト的なものを組み合わせて、対応できるようにしておくことが、浸水区域に該当する敷地に建てるのなら必要である。そして、土砂災害では、美東保健福祉センターの玄関部分が、土砂災害警戒区域にかかっていますが、これはあくまでも想定です。土砂がここまで来ないときもあるし、越えてくるときもある。土砂災害に関して、死傷者が出ないとは何かというと、危険箇所から土砂災害が起こる前に離脱するということが、非常に大事である。建物は、そこに固定化されていますから、動かしようがない。だから、そこにいる人が、避難していただくという発想になります。どこに建てようが、ソフト的に人が避難するということを入れていかないと建てる場所が無い。これは、美祢市に限らず、どこの自治体でも言えることです。防災を最上位に置かなくても、ソフトを組み合わせることですうまくできるところもある。</p>
支援業者	<p>時間がないので、資料8について秋芳の体育館機能をどうするかという議題で作った資料なので、一読してご理解いただきたい。</p>
岡松会長	<p>それぞれ貴重な意見だったと思いますし、短時間でまとめるというのは難しいと思いますので、事務局の方で整理をしていただいて、それを整理した形でお示しいただければと思います。なお、今後の有識者会議が何回くらい開催されるのか教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>現時点では、基本計画段階では、有識者会議はあと1回を予定しています。基本設計段階では、3回程度を予定しています。</p>
岡松会長	<p>スケジュール表では、どの辺りにプロットされるのでしょうか。</p>

事務局	現時点では、5月中下旬に次回のワークショップを予定しておりますので、それをまとめてから次回の有識者会議になると思います。ですので、6月に入ってから開催を考えております。6月上旬から中旬の開催を目標に進めていきたいと思っています。
岡松会長	その時には、敷地の選定も終わっているということですか。
事務局	はい。
岡松会長	1つ1つの意見を重々検討いただいて、最終決定に向かっていただきたいと思います。基本設計の有識者会議は、どのようなスケジュールですか。
事務局	スケジュール表にプロットしたものを後日メール等でお送りしたいと思います。
	<b>4 その他</b>
	<b>(1) 次回(第3回)有識者会議について</b>
事務局	< 説明 > (日程調整)
C委員	秋芳の体育館の説明がありましたが、事務局側で、秋芳中学校の体育館が、どれだけ需要があるか、時間外の社会体育に対する要求がどれだけあるか考えると、新築とか新しいものをつくるとかの選択肢だけでなく、学校教育と社会教育の融合化を図ることを教育委員会側に意見をまとめていただけないか。そうすると、美東の体育館も使えなくなるときに、体育館をふんだんに地域で持つ必要があるのか。それから連携が取れないのか検討しておいていただきたい。授業があれば別ですが、規模の問題でそのところを詰めておいていただきたいと思います。
岡松会長	まだ、十分な意見等ではないかもしれませんが、以上で終わりたいと思います。
	<b>5 閉会</b>